

令和5年度学校目標

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①生徒一人ひとりの進路を保障する教育課程を編成するとともに、高いレベルの学力（思考力・判断力・表現力）を育成する。 ②生徒会活動や学校行事を活性化させ、自主性や主体性を育む。	①確かな学力をつけるために、主体的に学習に取り組む生徒が増えるよう、教科等の学習支援に取り組む。 ②生徒が生徒会活動や学校行事に自主的・主体的に関わることで、充実した学校生活を送れるように支援する。	①主体的な学習についての共通理解を引き続き図る。 ①これまでに共有したことを参考に、生徒の成長を捉えることも意識した授業改善を進める。また、小・中学校との連携も模索する。 ②生徒会活動や学校行事・部活動を生徒が自主的・主体的に活動できたか取り組み状況を把握し支援を行う。	①主体的に学習活動に取り組む生徒が増えるよう、各教科の工夫がなされたか。また、それらの共有がなされたか。 ②生徒の意見を取り入れた活動とすることができたか、また生徒の取り組み状況が充実したものとなっていたか。
2	生徒指導・支援	①部活動を活性化させると同時に学習との両立を図る。 ②豊かな人間性を涵養するとともに、個に応じた支援体制を構築する。	①部活動の取り組み状況を把握し、学習活動と両立した有意義な活動となるよう支援する。 ②学校内の関係者がチームとして取り組み、関係機関と連携した支援体制の充実を図る。	①部活動アンケートの実施により生徒の活動内容を把握し改善を行う。 ②スクリーニング会議やケース会議を定期的の実施し、問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応も含めた支援策の検討・実施・検証をチームとして一体的に行う。	①生徒の活動状況や要望を把握し、活動の活性化が実現できたか。 ②SC、SSWを含めた学校内の関係者が、支援策の検討・実証・検証をチームとして一体的に行うことができたか。
3	進路指導・支援	①探究的な活動を通して、課題解決に向けて主体的・協働的に取り組む姿勢を養う。 ②キャリア教育を充実させ、生徒の第一志望の進路実現を支援する進路指導を推進する。	①課題解決に向けて、協働的に取り組む場を積極的に設け、協働性・協調性を育む。 ②生徒の第一志望の実現に向けた進路指導体制の確立に取り組む。また、キャリア教育の機会を広げる。	①各教科の協働的な授業実践を共有する場を設ける。1学年の総合的な探究の時間はグループで取り組む。 ②職員研修を実施し、模擬試験や合否結果等のデータの分析方法や活用方法を研究することにより、一人ひとりの進路指導に生かす。また、生徒及び保護者に対して高い目標を維持し、努力する意識啓発を行う。 ②大学等出張講義の講座数を拡大し、生徒が参加しやすい状況にする。	①授業評価アンケートの項目5の3と4が85%以上を達成したか。 ②国公立大学現役合格者数70人以上を達成したか。難関私立大学（早稲田・慶應義塾）合格者数40人以上を達成したか。 ②大学等出張講義の参加延べ人数が令和4年度の参加延べ人数（125人）を超えたか。
4	地域等との協働	①学校運営協議会を活性化するとともに、家庭、地域、学校間、校種間、企業等との連携を図る。 ②教育活動の情報を積極的に発信する。	①地域、PTA等との協働を緊密に行い、開かれた学校づくりに資する取り組みを創出、推進する。 ②教育活動発信機会の拡充と、内容の充実化に努める。	①過去実績のある協働の再開について働きかけるとともに、協働の機会創出の場として、学校を地域に開かれた状態にしていくための方策を具体化していく。 ②ホームページや学校説明会の充実を図るとともに、オンラインツール等の更なる活用や小中学生等との直接交流を伴う情報発信を模索していく。	①過去実績のある協働について、取り組み内容をより充実化させることができたか。又は、新たな協働の機会を創出することができたか。 ②ホームページや学校説明会が充実したか。小中学生等との直接交流を伴う情報発信や、新たな媒体等を活用した情報の発信の拡大、充実させることができたか。
5	学校管理 学校運営	①教員のワークライフバランスを推進するために、教員の働き方改革を推進する。 ②安全安心な学校生活のための教育環境を整備する。	①効率的な業務改善を模索し、時間外在校等時間の削減や年休取得率の向上を図る。 ②環境美化に対する意識を高め、主体的に清掃活動をするよう指導する。美化委員の活動の活性化を図る。	①共有された教材を有効に活用する。部活動や分掌業務等にチームとして取り組み、業務改善に繋げる。 ②日常の清掃活動を通して、生徒一人ひとりの環境美化の意識を高める。美化委員会を中心とした美化活動により校内美化を図る。また、清掃用具の定期点検と清掃用具の整理・管理を行う。	①業務改善が進み、時間外在校等時間の削減や年休取得率が向上したか。 ②生徒の環境美化意識を高めることができたか。美化委員会を中心とした美化活動の活性化が図れたか。
<p>「教育目標・教育方針・中長期的な方針など」</p> <p>21世紀を生き抜く、知・徳・体ともにそなえた円満にして実践力のある人材を育成する。</p> <p>○生徒の第一志望の進路実現に向けた高いレベルの学力を育成する。</p> <p>○生徒会活動や学校行事を通して主体性や自主性を育む。</p> <p>○部活動と学習の両立を図るとともに自己肯定感や規範意識、他者を思いやる心を育て豊かな人間性を涵養する。</p> <p>○個に応じた支援体制を構築する。</p> <p>○探究的な活動を通して、課題解決に向けて主体的・協働的に取り組む姿勢を養う。</p> <p>○将来社会に貢献する人材を目指し、キャリア教育を充実させる。</p> <p>○家庭、地域、学校間、校種間、企業等と連携した学校づくりを行うとともに、積極的な情報発信を行う。</p> <p>○教員のワークライフバランスを推進するための教員の働き方改革を推進する。</p> <p>○安全安心な学校生活のための教育環境を整備する。</p>					